

本学のより良い教育を考えるために
〈第17回 桜美林大学 大学教育開発センター 学内シンポジウム〉

志願者の安定的確保のために

日時：2017年2月22日(水) 10:00~12:00*

※「大学教育開発センター Newsletter No. 21」(2016年12月31日発行)掲載のご案内では、「16:00~18:00」となっておりますが、上記の通り変更いたしました。

場所：理化学館 1階 S101 教室

大学において、志願者の確保はますます深刻な課題となっております。私立大学では、「志願者の確保が課題」と考えている大学は、約90%に上ります(朝日新聞と河合塾の共同調査による)。

この課題に対し、下記のように、最近の入試をめぐる情報と、本学の『Fact Book』の9年間のデータの解析結果をもとに、改善策を提案いたします。

多くの教職員の皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

10:00~10:10 開会挨拶 鈴木 克夫 (大学教育開発センター長)

10:10~11:00 入試改革についての展望

講師：村山 和生 ((株)ベネッセ i-キャリア 教育事業本部 営業企画部 シニアコンサルタント)

内容：

1. 入試改革を取り巻く論点整理：「大学入試改革」として今議論されている内容や、これからの外部環境の変化についての論点を整理します。
2. 貴学入試結果・動向分析：模擬試験等の結果などから、貴学に対する志望動向の特徴や変化について考察します。
3. 入試改革への対応の視点：他大学様の実践事例も交えながら、これからの入試改革で求められる視点や対応策についてご提案します。

11:00~11:55 志願者の安定的確保のために—9年間の『Fact Book』のデータから—

講師：藤田 晃 (桜美林大学 BM 学群教授/大学教育開発センター IR 部門主任)

内容：

1. 桜美林大学の9年分の『Fact Book』の入試データを用いて、入試倍率の推移を報告します。
2. 入試倍率の偏差値に及ぼす影響についての回帰分析の結果を報告します。
3. 大学の規模と入試倍率の面から、本学の位置を明らかにします。
4. 以上の実態調査から、入試倍率を改善するための提案を行います。

11:55~12:00 閉会挨拶 鈴木 克夫 (大学教育開発センター長)

※参加申込は不要です。直接、会場にお越しください。

主催・問い合わせ先：桜美林大学 大学教育開発センター E-mail: fdcenter@obirin.ac.jp